



# 清水けんいち 市政レポート

政策討議資料  
**第14号**  
2010年10月

## 平成21年度の決算認定・可決承認!

### 【ご挨拶】

深谷市議会議員に当選し、早4年目に入りました。皆様のご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。これからも、市民皆様の御意見や御要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動して参りますので、変らぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 【議会報告】

深谷市議会 平成22年度 第3回定例会9月議会が終了しました。

### 主な議案

- ・平成21年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定について (可決)
  - ・深谷市男女共同参画推進センター条例 (可決)
  - ・平成22年度深谷市一般会計補正予算 (第3号) (可決)
- (他、市長提出議案19件)

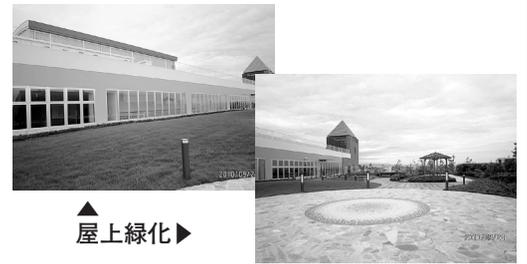
## 上柴公民館は11月オープン!

議案に上がりました、男女共同参画推進センター(Lフォルテ)は

上柴公民館に併設されます。(11月オープン)イトーヨーカ堂内(上柴)ということで、買い物をしたり、休日などは屋上緑化なども楽しめますので是非活用して下さい。



立派な体育館です



▲屋上緑化▶

## 花園公民館・平成26年の完成予定!

花園公民館建設協議会が開催されました。建設地は、現在の花園総合支所を取り壊して建てる予定です。尚、現在の支所機能は、そのまま残しサテライト型公民館(市長公約)となる予定です。規模と建物内部の施設内容は今後、協議してまいります。多くの市民の皆様の意見を聞くために、市では10月にアンケート(無作為抽出)を実施しますので、ご協力の程、お願いします。

## 9月14日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



### 「燃えるには、 愚かさがいる」

仕事は人であり、心であり、その燃焼である。そして、生きるとは、燃えることなり。賢いと燃えることはできない。燃えるためには愚かさがいる。

京都大学、元総長・平澤 興先生の言葉です。この言葉を教訓として実践した企業が数多くありますが、旧日通工の「ABCに徹しよう」は有名です。ABCとは「当たり前のことを、馬鹿みたいに、ちゃんとやろう」と言うことだそうです。今の時代に、とても必要なことではないでしょうか!

議席番号3番・清水健一です。傍聴の皆様、ご苦労様です。

それでは、発言通告書に基づき質問に入ります。

### 【質問】 中心市街地を、今後、どのように活性化していくのか?

国では、全国各地で問題になっている中心市街地の衰退について、様々な助成制度を用意していますが、例えば、戦略的中心市街地活性化支援事業では、補助率3分の2で、上限が10億円という補助が受けられて、その他にも「暮らし賑わい再生事業」「空きビル再生事業」などは、それぞれ上限7億円の補助が受けられます。更には、「地域商店街活性化支援事業」「中心市街地・再活性化特別対策事業」などの補助もありますが、今後、市はそうした国の支援事業を取り入れていく考えがあるのか聞かせてください。

**答弁** 現在、中心市街地では、中央区画整理事業が進められておりますので、今すぐに計画の策定ということは難しいですが、今後、地元と協議しながら研究していきます。

### 【質問】 産学官連携及び農商工連携の今後について

地域経済の活性化、雇用の創出、税の確保には、もちろん企業誘致は重要であると考えますが、今求められているのは、既存企業の振興であると考え、質問させていただきます。

**答弁** 市では、現在、産業振興条例を策定中であります。その中でも、産学官連携や農商工等連携および新連携について要綱や計画で定めて実行していきます。

### 【質問】 定年退職された、シニア世代の地域参加について

昭和22年前後生れの、団塊の世代の皆さんが退職し始めております。国では、団塊の世代を含む皆さんに「質の高い第2の人生」を送っていただくためとして、シニアライフアドバイザー制度を設けて、シニア世代の方々が、長い間の仕事で培った、様々な経験やノウハウを地域に活かしていただく施策を用意していますが、地域コミュニティの活性化のためにも取り入れるべきではないでしょうか?

**答弁** 高齢化社会に向かう深谷市に取りましても、確かに、重要なことと考えますので調査研究してまいります。

※その他に、地域コミュニティの活性化の観点から、不登校、ひきこもり、虐待防止の質問をさせていただきました。

### 【質問を終えて】

キンカ堂(深谷駅前)の倒産(2月)を受けて、このままでは、中心市街地がダメになってしまうという思いから、質問させていただきました。本来ならば「キンカ堂跡地をどうするのか」と、やる予定でしたが、土地所有の市内民間企業に配慮させていただき「キンカ堂跡地」の質問は取り下げました。

なので、最初は質問に現実性がなくインパクトが弱い感じでしたが、そこは「燃えるためには、愚かさがいる」の、とおり燃えさせていただきました。(笑)

質問や提言をすることは、議員として、とても大切な仕事です。実際に、前回、質問提言させていただきました、入札制度は10月に改正し、最低制限価格制度が導入されます。また、昨年9月に質問した「深谷市産業振興条例」の制定も決定しました。

今回の中心市街地の問題も、(仮称)ふかや街づくり株式会社を設立して、旧花園地区、旧岡部地区、旧川本地区を含めた、深谷市全体の活性化を進めていくべきと提言させていただきます。



# 平成21年度の決算認定・可決承認!

## 平成21年度 深谷市 決算概要

区分	一般会計	特別会計	合計
予算現額	527億9476万7669円	199億 308万2000円	726億9784万9669円
収入済額	510億1211万3429円	195億4941万5951円	705億6152万9380円
支出済額	472億 296万8455円	186億3404万9440円	658億3701万7895円
差引残額	38億 914万4974円	9億1536万6511円	47億2451万1485円
翌年度繰越額	16億5768万3357円	1億1896万7675円	17億7665万1032円
実質収支額	21億5146万1617円	7億9639万8836円	29億4786万 453円

- ◎予算現額=文字とおりの予算ですが、年当初予算に補正を加えたものです。
- ◎収入済額=実際に入ってきたお金であり、滞納や未済は含んでおりません。
- ◎支出済額=実際に支出された金額で、工事途中の支払などは翌年度繰越となります。
- ◎実質収支額=収入から支出を差引、支払わなければならない金額を引いた純剰余金です。

一般会計とは、市の会計の中心で、基本的な経費をまかなう会計です。  
特別会計とは、水道事業や区画整理などを行なうための特定の資金です。

## 一般会計 決算の内訳 歳入(収入)

項目	平成21年度	構成比(%)	前年度との比較	増減率(%)
①市税	185億9218万円	36.4	▲11億4211万円	▲5.8
②地方譲与税	7億6061万円	1.5	▲4916万円	▲6.1
③利子割交付金	5752万円	0.1	▲1311万円	▲18.6
④配当割交付金	2194万円	0.0	▲594万円	▲21.3
⑤株式等譲渡所得割交付金	1177万円	0.0	214万円	22.2
⑥地方消費税交付金	12億7660万円	2.5	8015万円	6.7
⑦ゴルフ場利用交付税	4875万円	0.1	▲374万円	▲7.1
⑧自動車所得税交付金	3億2909万円	0.6	▲2億3130万円	▲41.3
⑨地方特例交付金	2億8838万円	0.6	2857万円	11.0
⑩地方交付税	65億7574万円	12.9	7億 990万円	12.1
⑪交通安全対策特別交付金	3250万円	0.1	18万円	0.6
⑫分担金及び負担金	12億7495万円	2.5	▲4898万円	▲3.7
⑬使用料及び手数料	4億4033万円	0.9	▲1630万円	▲3.6
⑭国庫支出金	74億 312万円	14.5	35億8752万円	94.0
⑮県支出金	22億6066万円	4.4	2億 457万円	9.9
⑯財産収入	1億4337万円	0.3	▲7287万円	▲33.7
⑰寄付金	2570万円	0.1	1929万円	300.9
⑱繰入金	31億6498万円	6.2	9億8357万円	45.1
⑲繰越金	35億6266万円	7.0	▲6億1582万円	▲14.7
⑳諸収入	12億1292万円	2.4	4174万円	3.6
㉑市債	35億2834万円	6.9	12億8665万円	57.4
合計	510億1211万円	100	47億4495万円	10.3

### ①市税の内訳

個人市民税73億5451万円+滞納繰越分1億789万円 ※税率は全国一律ですが特例あり。  
法人市民税9億7493万円+滞納繰越分587万円 (対前年7億1066万円の減)  
※経済不況の影響は、市内企業も直撃している。  
固定資産税85億1900万円 (対前年2億3462万円の減) ※地下価格の下落の影響も!  
たばこ税8億5953万円 (対前年5025万円の減) ※禁煙家が確実に増えている!  
その他、軽自動車税や都市計画税

②地方贈与税の減少は、エコカー減税や自動車重量税などの道路財源を一般財源とした影響

⑥地方消費税交付金は5%の内、1%が地方へ渡され県と市が折半するものです。

⑦ゴルフ場利用税交付金は市内のゴルフ場利用者から徴収 (景気の影響でこちらも減少)

⑧自動車所得税交付金の減少は、エコカー減税によるものだが、9月に打ち切られたが売れなければ増収にはならない。

⑫分担金・負担金は消防費の寄居町負担金や保育園・学童などの保護者負担金などです。

⑬使用料及び手数料は、公民館・公共施設などの使用料や各種申請書発行に伴う手数料です。

※来年度から、公共施設の使用料金を見直す動きが見られますので注視していきます。

この時期の値上げは、市民負担の増加となり容認できません。

⑭・⑮の国庫、県支出金は障害者医療・自立支援や児童扶養手当、生活保護、学童、保育園運営区画整理などへの支出金です。

⑯財産収入は市有地売払いや差し押さえ品の売却収入です。

⑱繰入金は市の基金(貯金)の取り崩し繰り入れです。

⑲諸収入は預金利息や配当金、市税延滞金、収益事業収入、雑入などです。

⑳市債は市の借入に該当しますが、水道事業や土木関係は、全て合併特例債を利用し、臨時財政対策費は全額を国が交付税に算入します。

## 一般会計 決算の内訳 歳出(支出・性質別)

項目	平成21年度	構成比(%)	前年度	増減
①人件費	92億6519万円	19.6	96億4945万円	▲3億8426万円
②扶助費	77億7453万円	16.5	74億3643万円	3億3810万円
③物件費	56億1381万円	11.9	53億8386万円	2億2995万円
④操出金	44億7208万円	9.5	43億4723万円	1億2485万円
⑤補助費等	78億5827万円	16.6	48億9536万円	29億6291万円
⑥建設事業費	64億4051万円	13.6	45億3613万円	19億 438万円
⑦公債費	33億 836万円	7.1	36億5064万円	▲3億4228万円
⑧その他	24億7021万円	5.2	28億 540万円	▲3億3519万円
合計	472億 296万円	100	427億 450万円	44億9846万円

- ①人件費=市長をはじめとする、職員の給与や議員、嘱託職員の報酬などです。前年から3億8426万円の減は、職員の退職等によるものです。
- ②扶助費=生活保護費や高齢者、障害者、児童福祉費に要するお金です。増額の中身は、生活保護世帯の増加によるものです。
- ③物件費=委託料や保険料、消耗品などの消費的な性質を持つ費用です。
- ④操出金=各特別会計(区画整理事業や水道事業等)に対して一般会計から支出する費用です。
- ⑤補助費等=市から交付する補助金や交付金、負担金などです。前年から29億6291万円も増えたのは、国の施策である定額給付金事業の影響です。
- ⑥建設事業費=建物建設や道路工事などに当てられる費用です。増加分は、火葬場(深丘園)建設や福祉交流センターの建設費用です。



## 清水の私見

### 深谷市の財政を家計簿にすると!

ここでは、平成21年度の一般会計決算510億円を年間収入510万円の家庭の家計簿にしてみました。

親からの仕送りが、例年より50万円ほど多くなっていますが、水道光熱費にあります定額給付金によるものです。その他、医療費が年々増えてきています。新たな収入がないと、とても厳しい状況が続きます。

※新たな収入とは、企業誘致や既存企業の活性化などのことです。

## 平成21年 深谷市財政状況 家計簿(決算編)

収入		支出	
給料(市税)	186万円	食費(人件費)	92万円
パート収入(使用料・手数料)	17万円	水道光熱費(物件費・補助金等・定額給付金)	135万円
親からの仕送り(国庫補助金)	191万円	家族の医療費(扶助費)	78万円
定期預金の解約(基金の取り崩し)	32万円	子どもたちの教育費(教育費)	55万円
繰越金(前年度からの繰越)	35万円	子どもたちへの仕送り(他会計操出金)	45万円
ローンや借金(市債)	35万円	借金の返済(公債費)	34万円
貸付金で返してもらった分(諸収入など)	14万円	家の増改築(建設事業費)	65万円
収入合計	510万円	親戚や友人の面倒(貸付金)	4万円
		貯金(積立金・出資金・投資等)	2万円
		支出合計	510万円

## ●活動報告

市政報告会  
(7月25日)



小前田西之階戸地区「ふれあいサロン」に参加



今年の「ふかや小前田屋台祭り」は10月8日と9日に行なわれます。皆さん、是非、遊びに来てください。



# 清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8  
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: [info@shimizu-kenichi.jp](mailto:info@shimizu-kenichi.jp)



## プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ (49才)
- 家族構成 父、妻、子供3人 (6人家族) 犬 (オス) 1匹 (名前ショコラ)
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただいております。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。